

成長可能性に関する説明資料

株式会社RS Technologies
東証マザーズ:3445

1. 会社概要

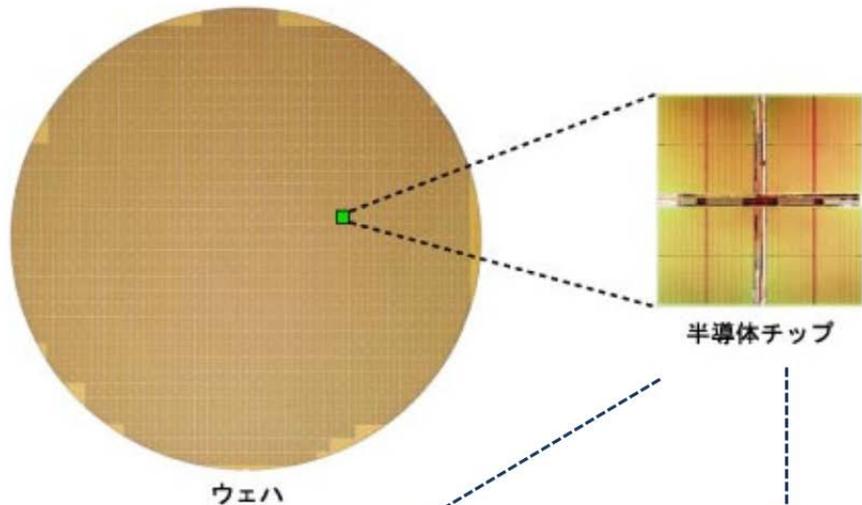
社名	株式会社 RS Technologies
本社	東京都品川区大井1-23-1 カクタビル 4F
三本木工場	宮城県大崎市三本木音無字山崎26-2
台南工場	No.1 Nanke 7th Rd., Southern Taiwan Science Park, Tainan City 74144 Taiwan
経営理念	「地球環境を大切にし、世界の人々に信頼され、 常に創造し挑戦する。」
資本金	19,900万円（2014/12/31時点）
取締役	方永義、鈴木正行、本郷邦夫、近藤淳行 石黒正亨、李宗根、渡邊泰紀
設立	平成22年/2010年12月10日
操業開始	平成23年/2011年1月1日
事業内容	半導体用シリコンウェーハの再生、加工、販売、 ソーラー売電 他
決算数値	売上高4,566(百万円) 経常利益1,247(百万円) (2014/12月期)

1. 会社概要-沿革

1985年4月	ラサ工業(株)三本木工場にてSiウェーハ再生事業開始。 ⇒ 日本で初めて再生ビジネスを始めた会社。
2010年12月	ラサ工業(株)がウェーハ再生事業から撤退。
2010年12月	現社長が中心となり、新会社を設立し、ウェーハ再生事業を承継することで、ラサ工業(株)と合意。 再生設備を購入。
2011年1月	(株)RS Technologiesとして53名で事業開始。
2014年2月	アルスハンドウタイ 艾爾斯半導體股份有限公司(台湾)を設立。
現在	台湾：工場を取得して改装工事中。 三本木：最新鋭の設備を兼ね備えた工場を増設中。

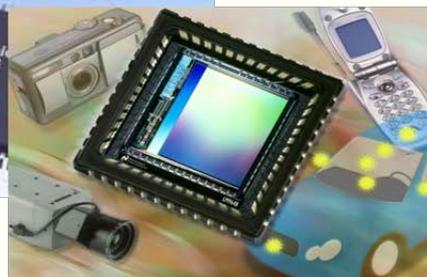
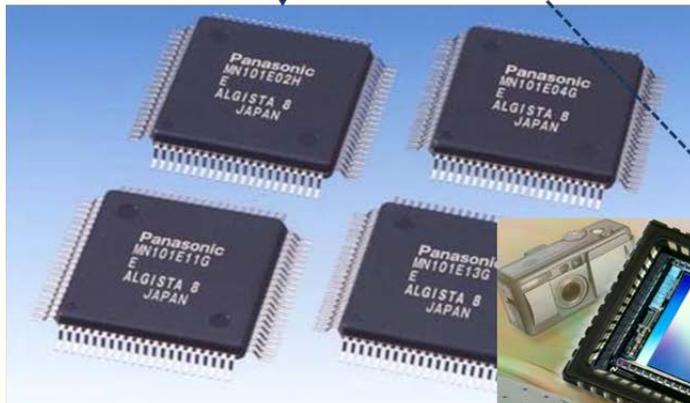
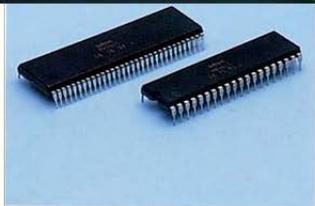
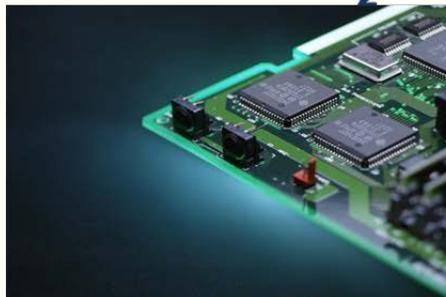
事業内容について

2. シリコンウェーハ再生事業-半導体とウェーハ

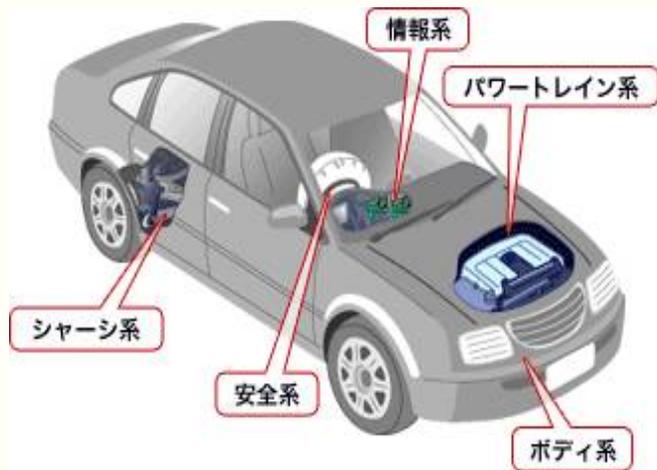


各種電気製品や自動車等の基幹部品となる半導体は円盤状のシリコンウェーハから作られます。

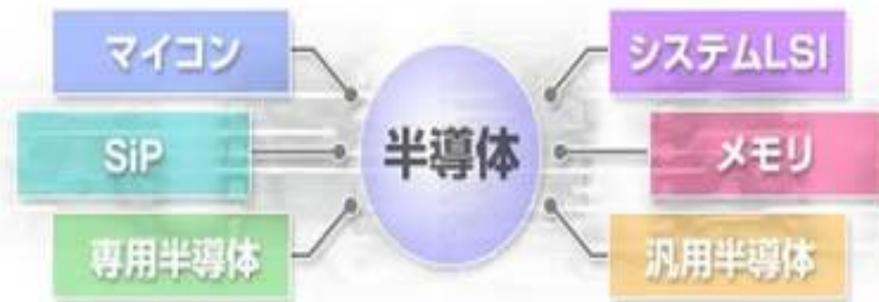
我々は**シリコンウェーハの再生加工を行う会社**です。



2. シリコンウェーハ再生事業-半導体の用途



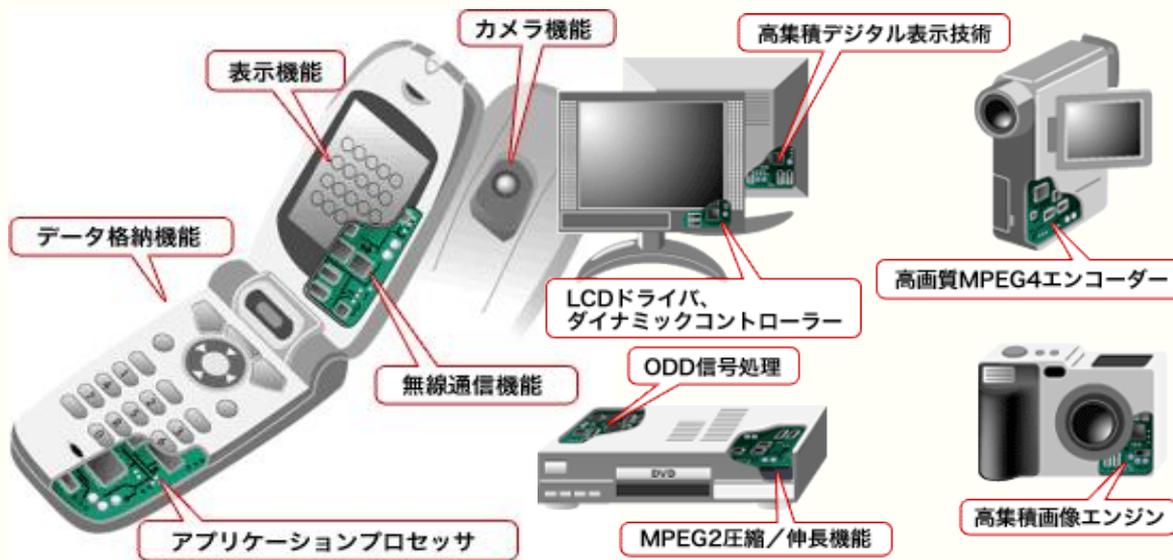
スマホ・タブレット
 ・ウェアラブル・自動運転
 ・家・ビル・町・**M2M**・・・etc



世界の半導体の需要は

- ★ 世界の人口増
- ★ 新興国の経済発展
- ★ 先進国の
デバイス用途の多様化

により拡大

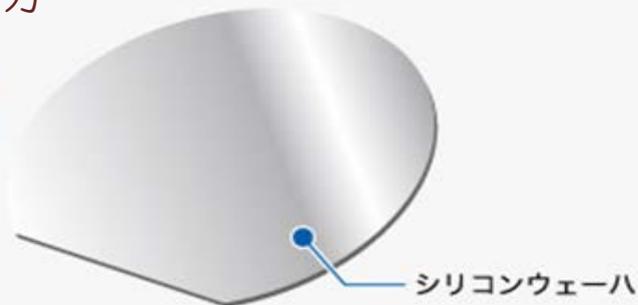


2. シリコンウェーハ再生事業-半導体製造概要

半導体製造のおおまかな流れ

ウェーハメーカー

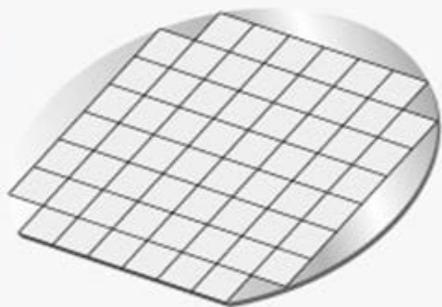
処理前



半導体メーカー

前工程

ICの回路を作る工程

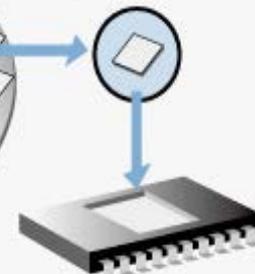


半導体メーカー

後工程

1個1個のICチップを
切り取り、パッケージ
に入れる工程

切り取ったICのチップ



ICのパッケージ

できあがり

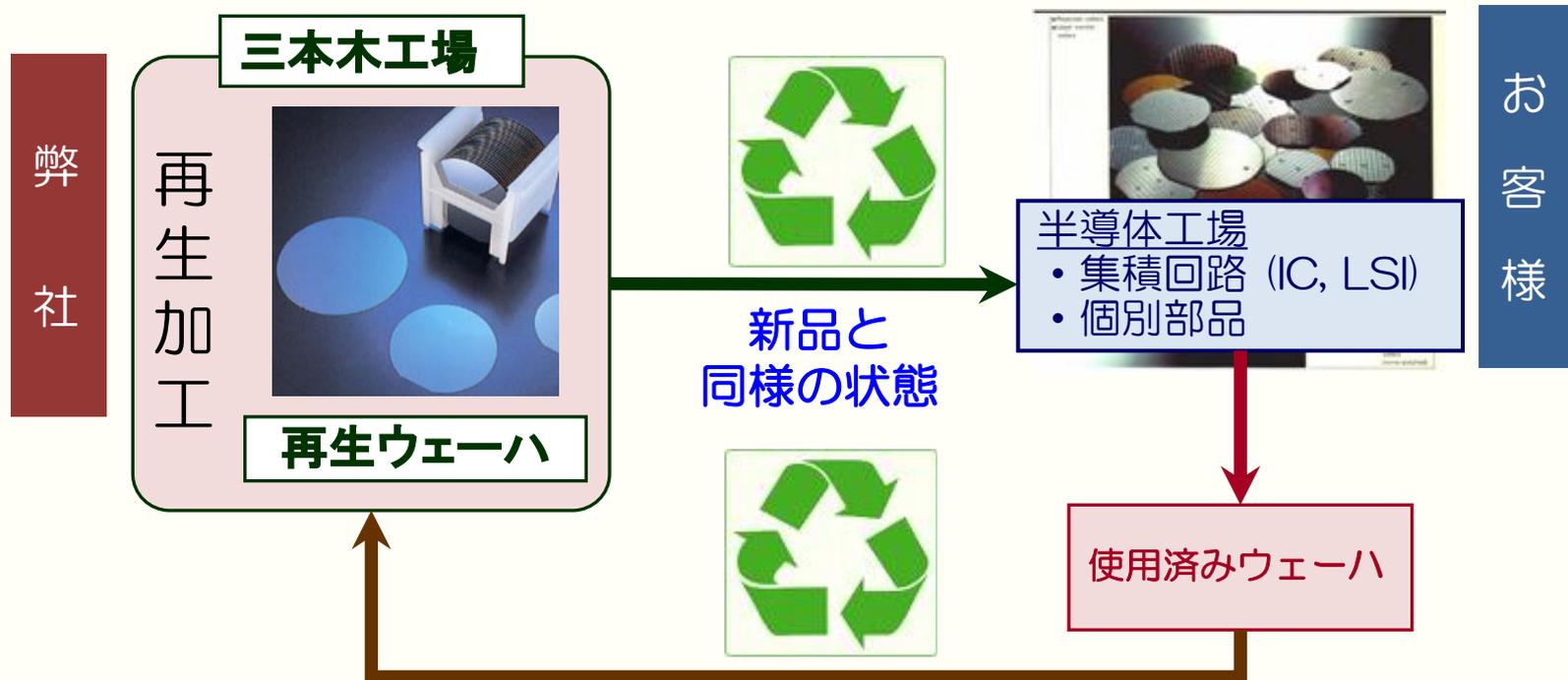


当社の再生ウェーハが大量に使用されます。

2. シリコンウェーハ再生事業-再生とは？

半導体工場では700を超える工程がありますが、各工程のプロセス評価、出来栄への評価のために『モニタウェーハ』が使用されます。これらのモニタウェーハは、1回～数回使用されると使用不可となりますが、弊社は、これらのウェーハをお預かりし、再生加工をすることで新品と同様の状態に戻し、再度同じ用途で使用していただくサービスを提供しております。

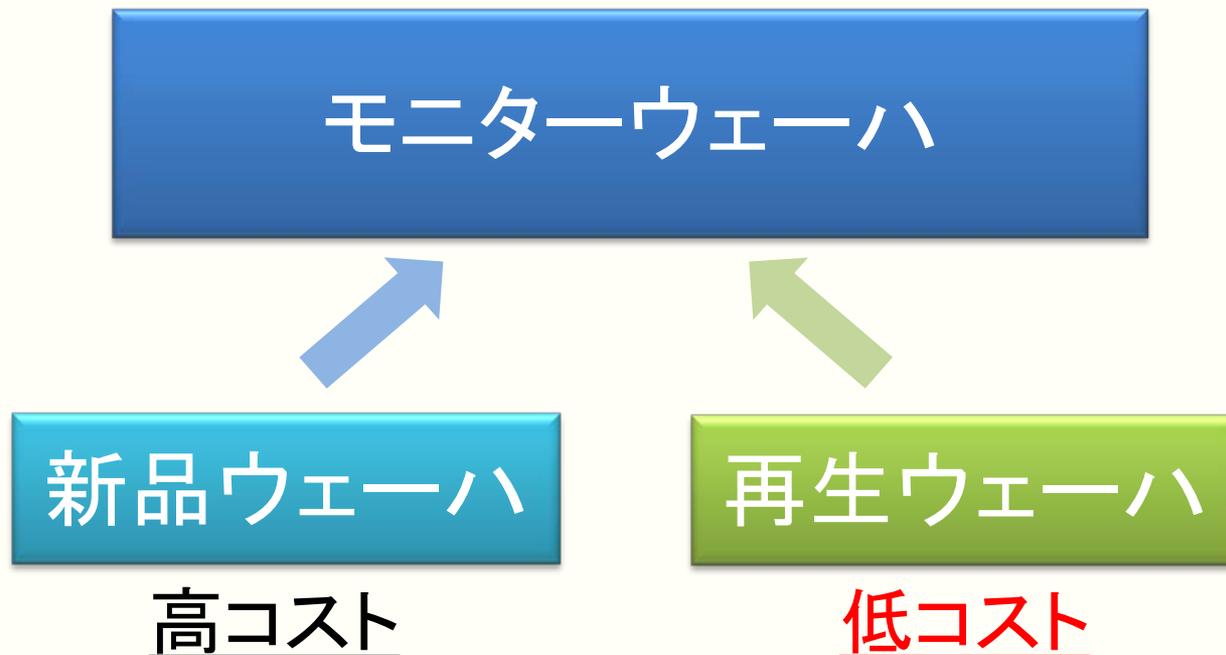
再生ウェーハはシリコンウェーハ全使用量に対し、約21%の需要があります。
(SEMI 2012実績)



2.シリコンウェーハ再生事業-なぜ再生が必要か？

◇◇ なぜ再生ウェーハの需要があるのか？ ◇◇

◎一番の目的は、お客様の**コストダウン**のためです。



※環境負荷を減らすという目的もあります。

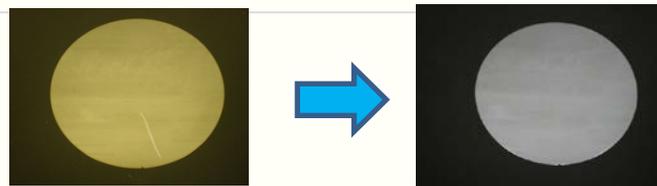
2. シリコンウェーハ再生事業 工程概要と 当社の強み

クリーンルーム

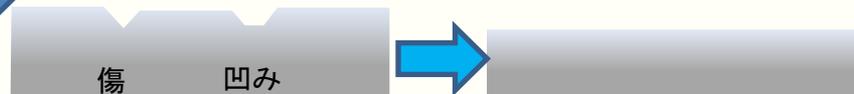


・強み①(すべての膜を剥離可能)
ケミカルによる除去の為、表面のダメージが最小限に→「再生回数が多い」→よりコストダウンが可能に。

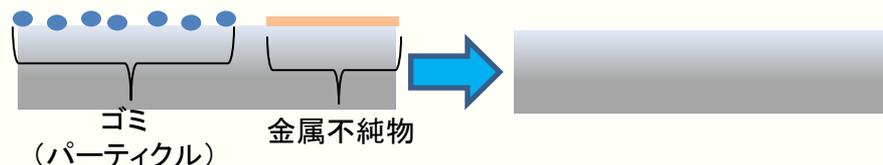
★ラサ工業（化学）の特異技術を承継



・表面に付いているキズや凹凸を
研磨(ポリッシング)により平滑にする



・強み②(金属不純物を除去)
ウェーハ表面の微細ゴミ、汚れ、を洗浄で取り除く
+ 金属不純物の除去
特に銅 (Cu) の汚染除去に強み



事業計画について

3. 中・長期的な経営方針

- ①事業計画通りの新設・増設による**生産力拡大**
- ②再生市場での当社の**シェア拡大**
- ③伸長する**需要の取込み**
- ④潜在的な**再生市場の開拓**
- ⑤中国半導体マーケットへの**参入**

3. 財務情報 - サマリー -

会計年度	2014/12 (実績)	2015/12 (計画)	2016/12 (計画)	2017/12 (計画)
売上高	4,566 百万円	5,486 百万円	7,276百万円	7,442百万円
営業利益	1,166 百万円	927 百万円	1,820百万円	1,912百万円
当期純利益	664 百万円	420 百万円	1,263百万円	1,324百万円

【前提】(2015年度～2017年度)

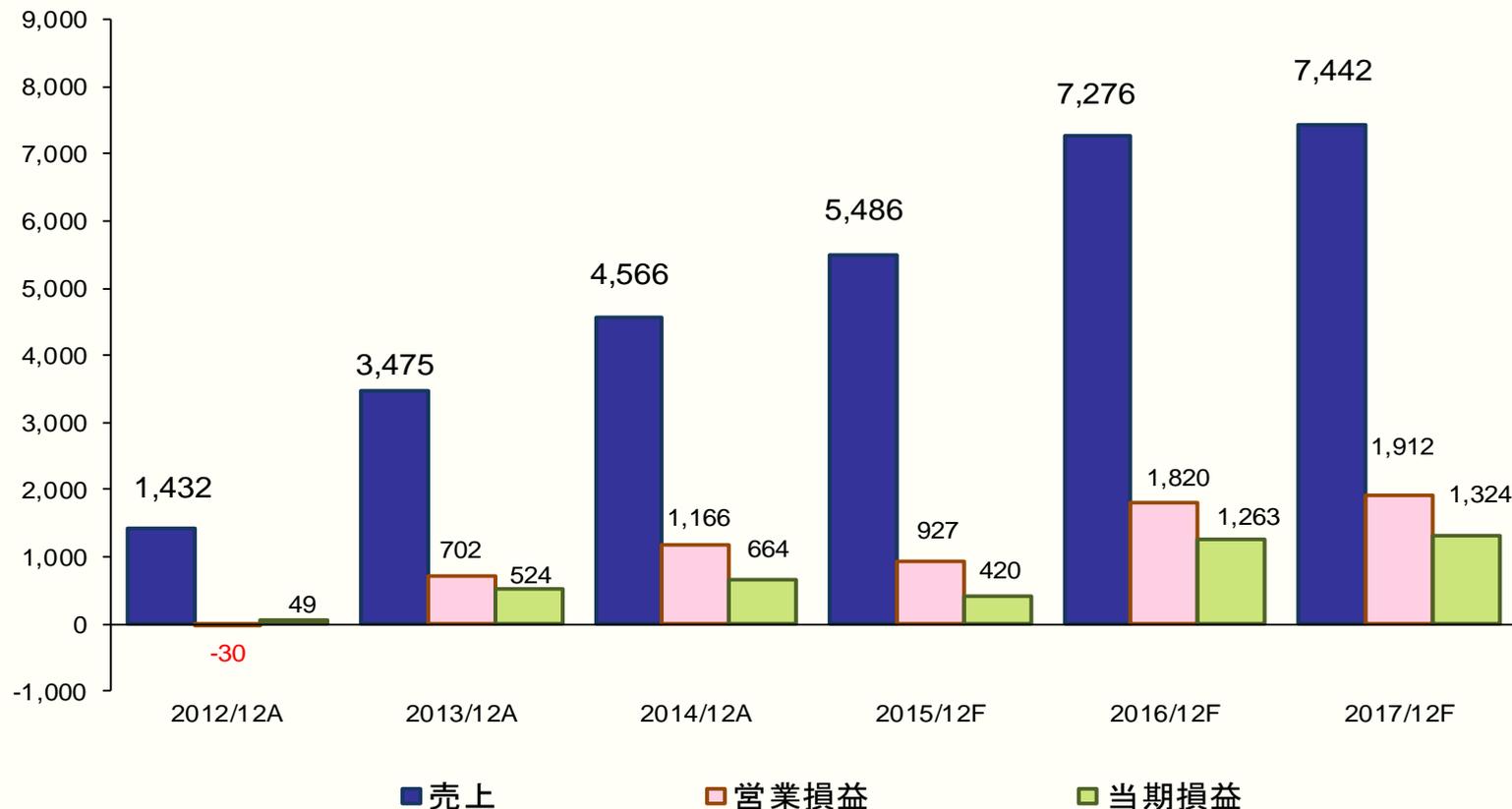
為替
109.5 円/USドル

3. 財務情報 - 実績と中期計画 -

財務数値推移

単位 百万円

(百万円)



-- 計画 --

2015年度は増収・減益

減益は主に、移転・新設の費用によるもの

-- 計画 -- **2016年以降は増収・増益になる見込み**

設備投資による製造能力アップで

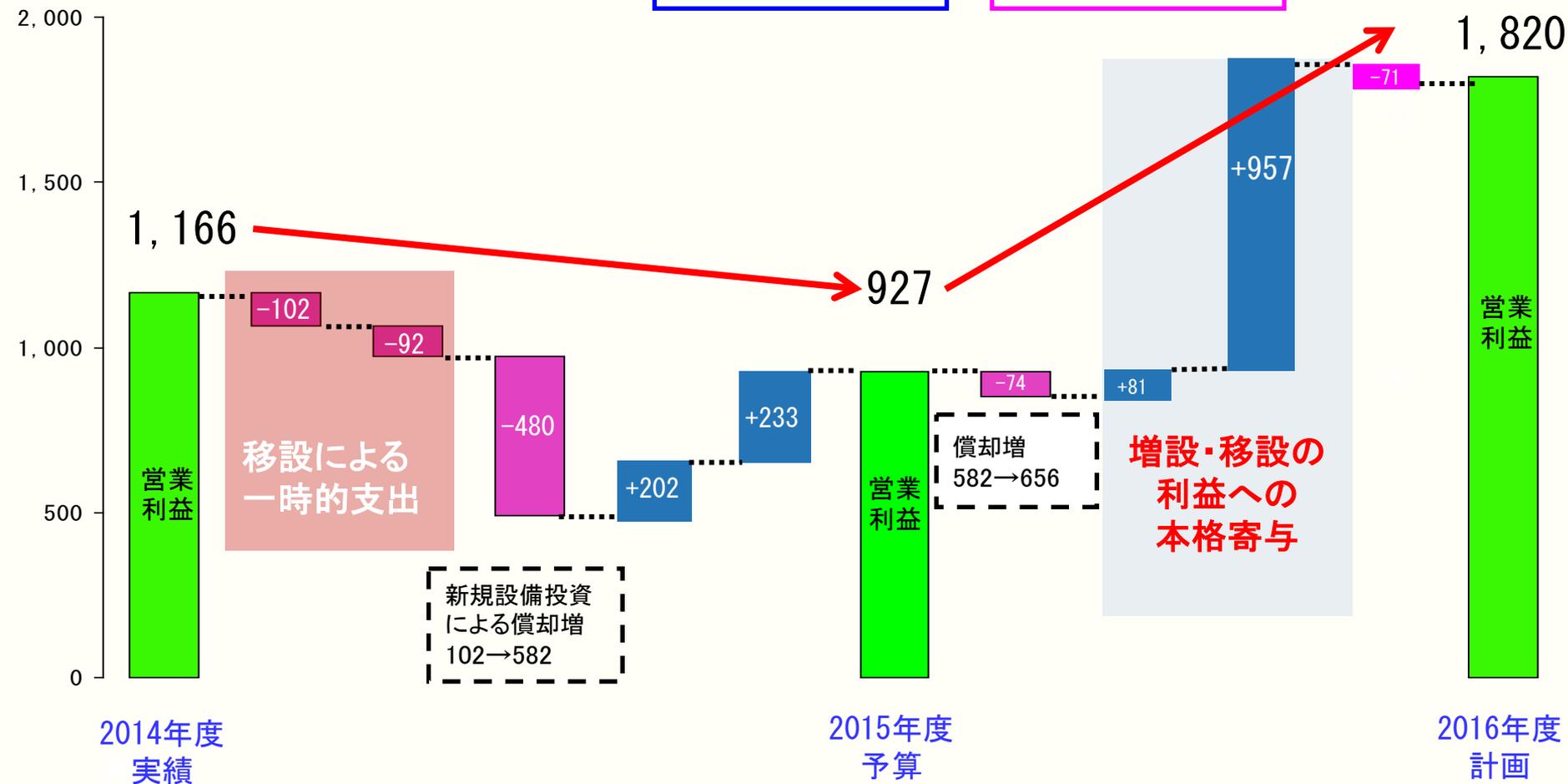
供給不足だった顧客需要への対応によるもの

3. 財務情報 - 2015年度と2016年度の営業利益増減分析 -

青色:対前年プラス

赤色:対前年マイナス

単位:百万円/年



増減要因

移設費用 (日本)

移設費用 (台湾)

償却費

出荷数量増による

その他

償却費

出荷数量増による

新製品販売・台湾子会社稼働による利益増

その他

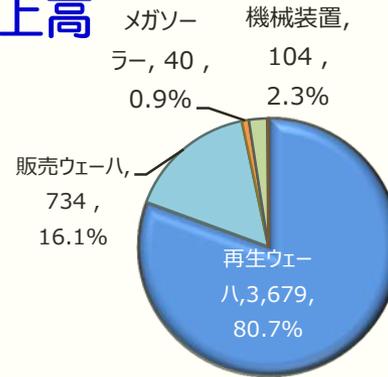
4. 事業展開 (2014年12月期)

シリコンウェーハ再生事業を軸に
関連する周辺事業も拡大していきます

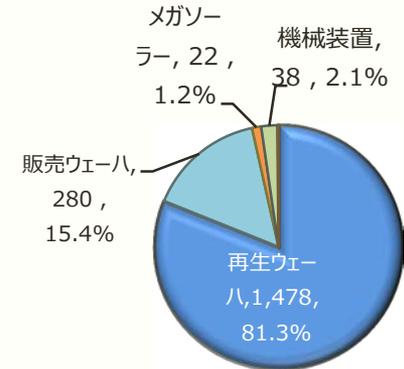


セグメントシェア 2014/12月期実績
(金額、%)

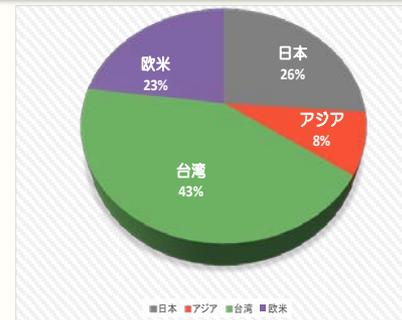
売上高



売上
総利益



地域別売上シェア 2014/12月期実績
(%)



4. 事業展開（2015年12月期）

～当社300mmウェー八月産生産能力推移～

	2014/12末 時点	2015/3末 時点	2015/12末 時点
三本木工場 (宮城県大崎市)	14 万枚	16 万枚 (2015/3から生 産開始予定)	16 万枚
台南工場 (台湾国台南市)	- 万枚	- 万枚	10 万枚 (2015/6末から 生産開始予定)
合 計	14 万枚	16 万枚	26 万枚

4. 事業展開- (2015年12月期) -①



4. 事業展開（2015年12月期）-②

■台湾への進出

台湾は半導体の集積地で、世界で現在最も重要視されている市場となります。

なかでも、台南には今後も、半導体工場増設が予定されており、それに併せ当社も台南に進出しました。

会社名	艾爾斯半導體股份有限公司
資本金	NT\$1億（3.7億円）
設立	2014年2月（平成26年）
操業開始	2015年6月（平成27年）
生産能力（新設）	月産10万枚／300mmウェーハ
事業内容	半導体用シリコンウェーハの再生加工、販売

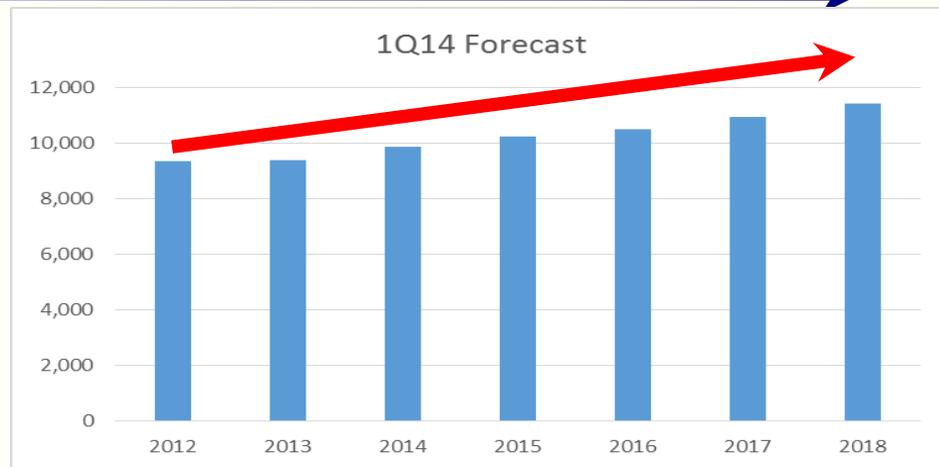


ご参考

市場予測について

中・長期的なシリコンウェーハ市場の予測

(『Gartner社』予測)



百万平方インチ

	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
シリコンウェーハ出荷面積	9,361	9,398	9,849	10,247	10,509	10,939	11,410
増加対前年		37	451	398	262	430	471

↓↓↓

12インチ ウェーハ 枚数換算すると		千枚/年					
年毎増加数		327	3,989	3,520	2,317	3,803	4,166
累計増加数				3,520	5,837	9,640	13,806

(『SEMI』2012実績)

再生ウェーハ
比率 約21%

再生ウェーハ

千枚/年

2015	2016	2017	2018
739	1,225	2,024	2,898

再生ウェーハの
増加予測
月240千枚の
伸び

再生ウェーハ市場の予測

再生ウェーハは毎年増加し、今後4年間の累計で毎月240千枚の需要増が予想されます。

⇒ 再生ウェーハ市場はまだまだ伸びる見込み。

注意事項

- 当該資料に記載された内容は、一般的に認識されている経済情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営を取りまく様々な環境の変化により、予告なしに変更される可能性がございます。
- 本発表において提供される資料ならびに情報の中には「見通し情報」が含まれております。これらの情報は、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実際には異なる結果となる不確実性を含んでおります。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。